

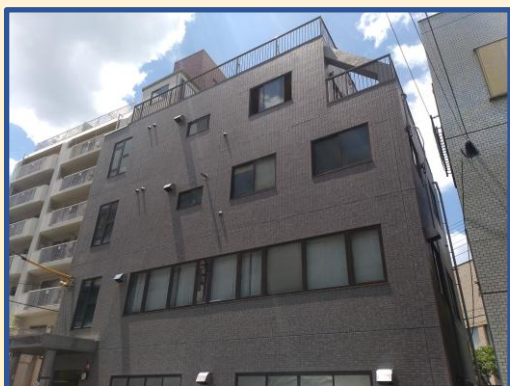
環境経営レポート 2023



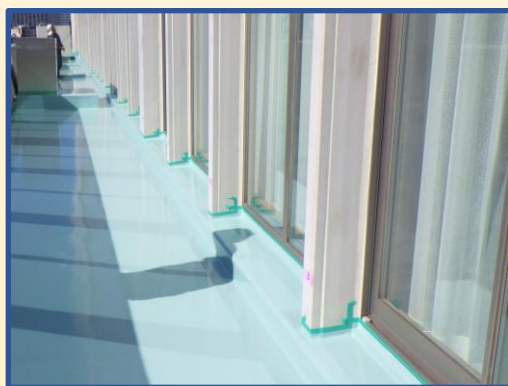
児童向け図書館新設



太陽光発電設備設置



ビル外壁大規模修繕



区民会館防水工事

2023年度版

対象期間： 2023（令和5）年 10月
～ 2024（令和6）年 9月

発行日 ： 2024（令和6）年 11月 30日



1：環境経営レポート発行にあたって

近年の社会的な環境問題に対する意識の向上は、企業コンプライアンスと共に必要不可欠な時代となりました。

建設業界においても、我々中小零細企業の存在価値が問われる中、その大小に関わらず環境改善に取り組む姿勢が重要であります。

弊社に於いては、2019年度「エコアクション21」認証登録を通して、より実践的に環境経営マネジメントシステムを展開していく道すじが出来たと言えます。

今後は、従来より地域密着型企業の特性を最大限に活かし、迅速且つスピード感を持った対応、柔軟で小回りの利く現場対応を実施する事で、大手建設業が対抗出来ない差別化を図り、更に環境経営の考え方の具体的指針を作成し、経営の柱として実践していく必要があります。

今まで大手企業に依存していた社会的な環境問題の解決に対し、その一端を担うべく、社会に対しその取り組みを宣言すると共に、微力ではありますが日々の業務の一環として実践して参ります。



代表取締役
赤石 正次

目 次	
1 環境経営レポート発行にあたって	1
2 企業理念・経営ビジョン	2
3 事業概要	3
4 事業実績	4
5 SDGsへの貢献	5
6 組織の概要	6
7 環境経営への取り組み	
・ 環境経営方針	7
・ 環境経営システム実施体制	8
・ 役割、責任及び権限	8
・ 環境経営目標及び実績	9
・ 環境経営計画の取組結果とその評価	10
・ 環境関連法規等遵守状況	15
・ 代表者による全体の評価と見直し・指示	15
8 工事現場	16
9 地域社会との交流	17

2：企業理念・経営ビジョン

■企業理念

企業理念

人の和を基本に顧客との生涯の心の触れ合いを求め、
地域社会の発展に寄与いたします。

■経営ビジョン

(1) 事業の拡大

創業75年を超え、更なる未来に向けて、持続可能な経営基盤を確立することが事業拡大の基本と考えています。地元地域密着型事業に努め、量より質を重視、具体的指針として、顧客満足後の向上、社員のモチベーションの向上・生活の安定化、地元営業のシェアの拡大を推進します。

(2) 顧客満足度の向上

顧客満足度向上の為に、顧客に対し営業・工事担当者から役員に至る全社員が情報を共有し、顧客に満足して頂くアプローチを取ります。提供するサービスの定期点検・維持メンテナンス、年2回のアンケート、担当・役員による定期個別訪問によるヒアリング等の実施を推進し、顧客との強固な絆を構築します。

(3) 従業員の能力向上

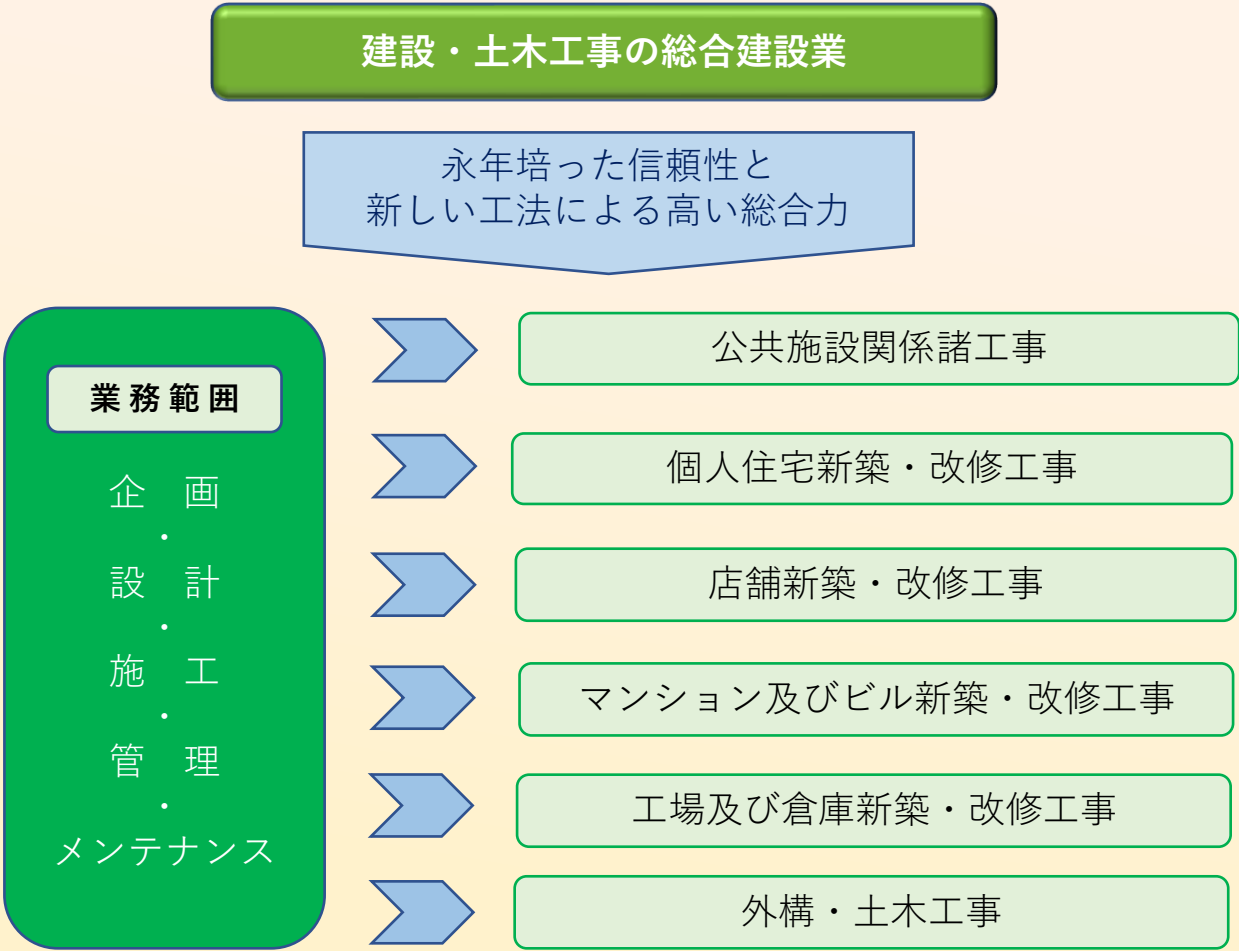
やりがいのある職場作りに参加しているという社員の意識レベルの向上とモチベーションの維持を図る社内環境の整備が大事であると考えます。

業務に必須となる各種資格取得のバックアップ・講習会等の費用負担の充実・能力向上の結果を正當に判断する評価システムの構築を実施します。

3：事業概要

弊社は、建築・土木工事の企画・設計・施工・管理・メンテナンス等を営業種目とする総合建設業者です。

■ 事業種目



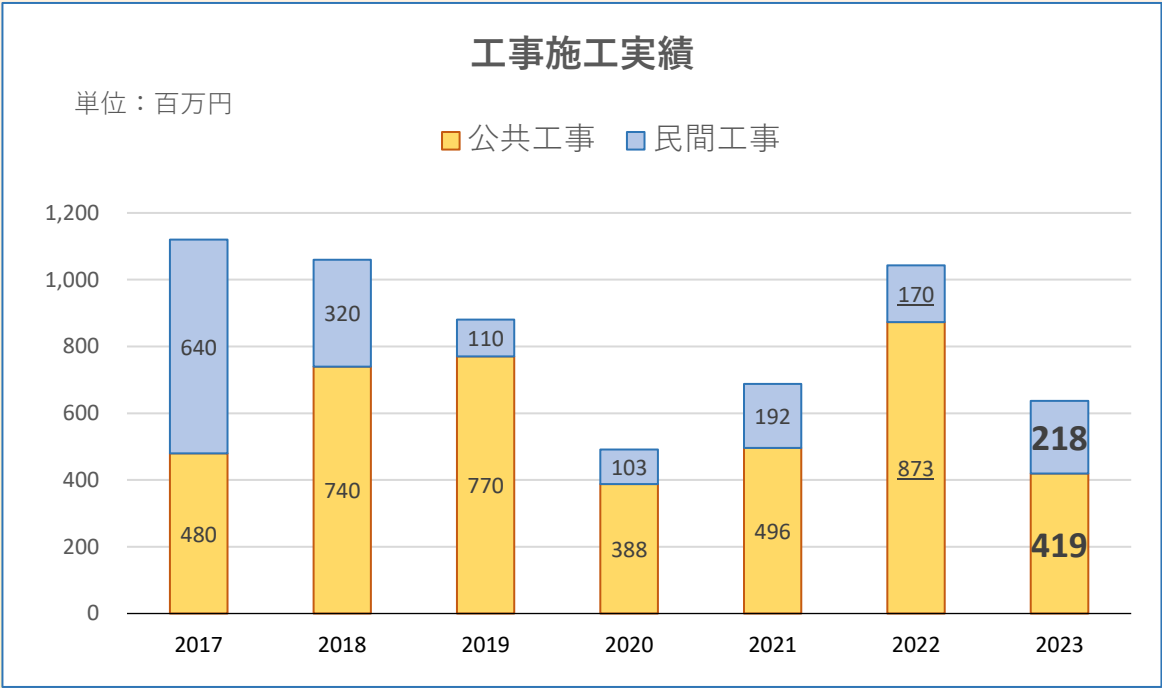
■ 会社沿革

昭和23年4月	創業者赤石正が赤石工務店を開業
昭和38年10月	事業拡張に伴い株式会社赤石建設として法人化
昭和61年4月	資本金3,500万円に増資
昭和63年1月	赤石正次が代表取締役社長に就任
平成4年4月	江東区亀戸4丁目46番12号に本社を移転
平成11年4月	顧客サービス充実のためリフォーム事業部創設
平成30年9月	環境経営マネジメントシステム「エコアクション21」認証登録

4：事業実績

■ 工事施工の実績

弊社は、東京都や江東区など地元の公共工事及び民間工事を中心に、地域密着の地道な事業を営んでおり、工事施工実績の安定確保を目指しています。

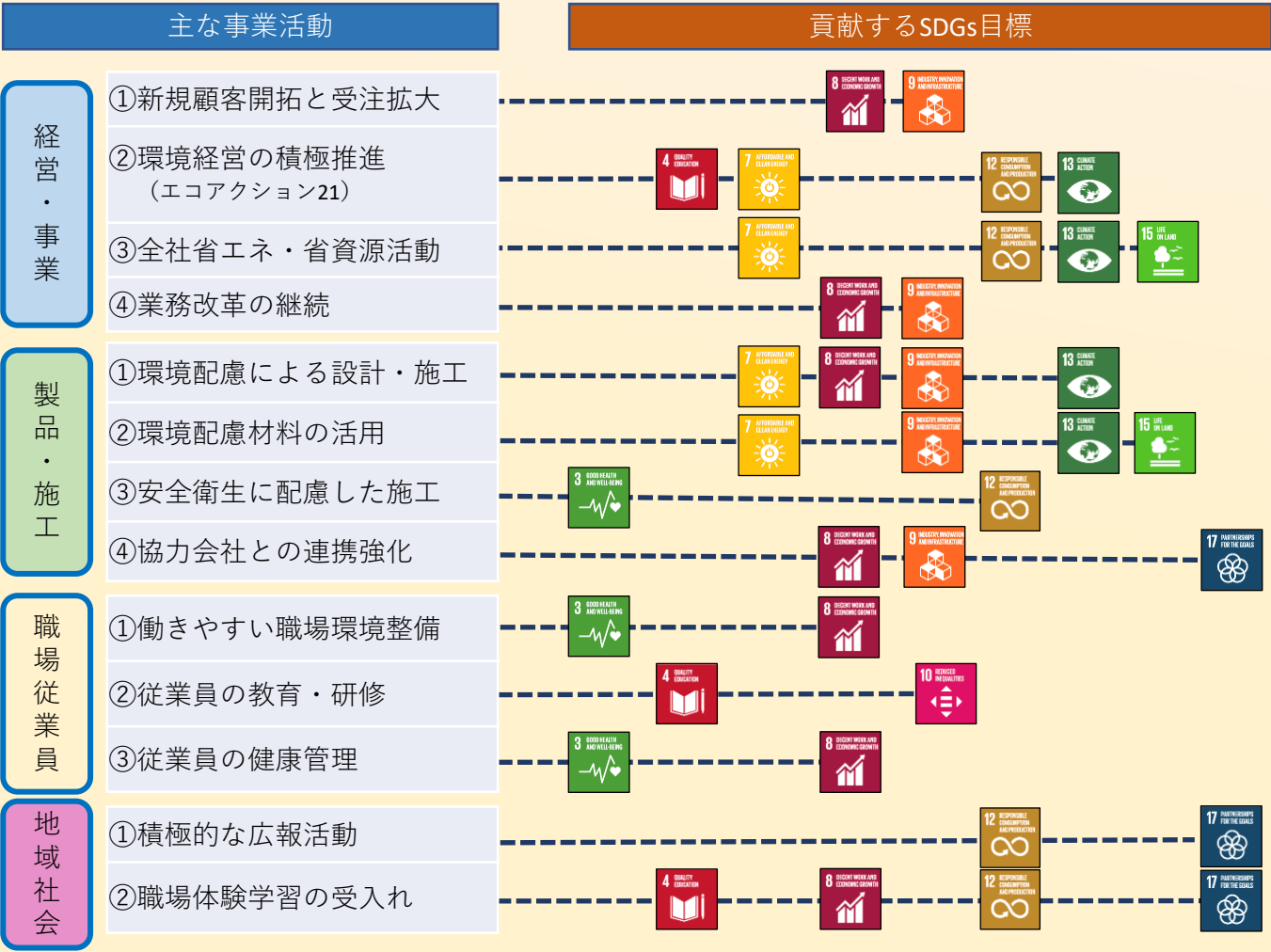


5：SDGsへの貢献

当社は、事業活動を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献しています。SDGsは、2015年国連サミットにおいて「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けて採択された世界共通の目標です。（17の目標）

SDGs 17の 目標	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 クリーンなエネルギーをみんなに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-------------------	--------------	-------------	-------------------	------------------	--------------------	--------------------	----------------------	-----------------	----------------------	--------------------	---------------------	------------------	--------------------	-----------------	-----------------	--------------------	-------------------------

■ 弊社の事業活動とSDGsへの貢献の概要



6：組織の概要

- 社名 株式会社 赤石建設
- 所在地 東京都江東区亀戸四丁目46番12号
- 創業年月日 昭和23年10月1日
- 資本金 35,000,000円
- 事業概要 建築・土木・設備の設計・施工・メンテナンス
- 売上高等推移

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	883.7	491.3	688.5	1,042.8	636.7
従業員数	人	17	16	17	16	16
床面積	m ²	115.53	115.53	115.53	115.53	115.53

■ 事業所及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	業務	人員	認証登録 対象該当否
本 社	東京都江東区亀戸4丁目46-12	営業・設計・ 工事・総務	16	該当
倉 庫	東京都江東区亀戸4丁目46-13	資材倉庫	0	該当
千葉倉庫	千葉県船橋市藤原5丁目343-13	資材倉庫	0	該当

■ 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者	役職：代表取締役 氏名：赤石 正次
環境担当者	役職：代表取締役 氏名：赤石 正次
連絡先	住所： 東京都江東区亀戸四丁目46-12 電話： 03-3683-2356 FAX：03-3636-1080 E-Mail：akaishi@akaken.com

■ 事業のための許可・登録関係

許可・登録名称	事業範囲	許可・登録番号
建設業	建築工事業	東京都知事許可（特-5）第17387号
	土木工事業	東京都知事許可（特-5）第17387号
設計事務所	一級建築事務所	東京都知事登録 第37957号
不動産取引業	不動産取引業	東京都知事（13）第29693号

7：環境経営への取り組み

■ 環境経営方針

〔 企業理念 〕

私達建築を志す者は、人の和を基本に顧客との生涯の心の触れ合いを求め、地域社会の発展に寄与する。

〔 環境経営の指針 〕

当社は、企業理念に則り、事業経営における環境への取り組みの重要性を強く認識し、当社の建設業に適合した環境経営システムを構築・運用することにより、環境負荷の少ない事業活動並びに環境に配慮した建築工事・サービス等の提供に積極的に取り組みます。

環境経営への取り組みに当たっては、環境関連法規等を遵守し、以下の重点分野に従って全従業員による環境活動を実践すると共に環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

〔 環境経営取組の重点分野 〕

1. 二酸化炭素排出量の削減
 - ① 事務所における照明、空調及び事務機の電気使用量の削減を図ります。
 - ② エコドライブの徹底により車輛等の燃料使用量の削減を行います。
 - ③ 工事現場における建設機材の効率的使用により燃料消費量の削減を行います。
 - ④ CO2 排出量削減とコスト低減を図ります。
2. 廃棄物排出量の削減
 - ① 建築原材料の有効利用と不良低減に努め廃棄物排出量を削減します。
 - ② 建築工事に係わる産業廃棄物の発生を抑制すると共に適正処理を行います。
 - ③ 事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
 - ④ 資源を有効利用すると共に使用済資源のリサイクルを推進します。
3. 水使用量の削減
 - ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。
 - ② 工事施工に係わる水使用量の抑制に務めます。
4. 化学物質使用量の削減（管理）
 - ① 化学物質を使用する場合は、使用状況を管理します。
5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
 - ① 社会と市場のニーズに応えられる事業と製品開発に挑戦します。
 - ② 請負建築工事物件の環境性能（省エネ性・耐久性・再利用性）の向上に努めます。
 - ③ 顧客に有益な省エネ型工事・設備の導入を提案します。
 - ④ 環境配慮型工事受注の促進に努めます。
 - ⑤ 環境への配慮及び SDGs の達成に努めます。
 - ⑥ 従業員とのコミュニケーション、人材育成、環境経営取組の結果報告、面談に努めます。

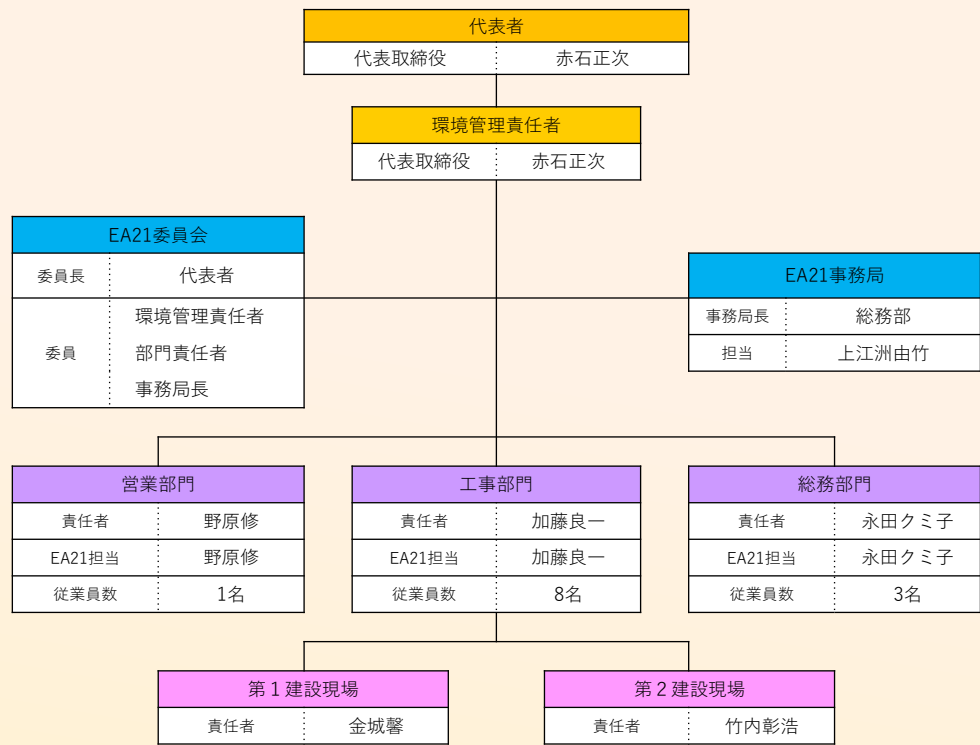
この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定：2017 年 6 月 1 日

改訂：2021 年 10 月 1 日

株式会社 赤石建設
代表取締役 赤石 正次

■環境経営システム実施体制



■役割、責任及び権限

対象者	役割、責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。 ・環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）の用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21委員会	・環境経営方針等決定事項の社内伝達 ・EA21活動に関する協議、意見交換
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門責任者	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
工事現場責任者	・工事施工に当たっての環境配慮の徹底 ・工事における節電、節水及び適正な廃棄物処理
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

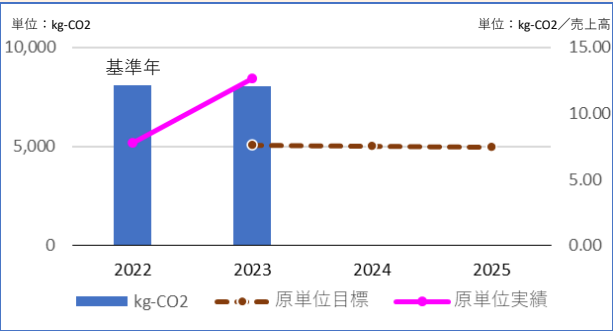
■環境経営目標及び実績

環境目標項目			基準年	年度目標			2023年度実績	
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2023/10 ～2024/9	目標 達成
1 二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	〔目標設定比率〕	単位	基準値比	2 %削減	3 %削減	4 %削減		
	(1) 電気使用量の削減	kwh	16,750	—	—	—	16,648	—
	排出係数 0.484※1	kg-CO2	8,107				8,058	
	売上高原単位CO2	kg-CO2 /百万円	7.77	7.62	7.54	7.46	12.66	×
	(2) ガソリン	L	3,504	—	—	—	3,784	—
	排出係数 2.32	kg-CO2	8,129				8,779	
	売上高原単位CO2	kg-CO2 /百万円	7.80	7.64	7.56	7.48	13.79	×
	(3) 現場電気使用量管理	kwh	0	使用量把握	使用量把握	使用量把握	3,162	○
	排出係数 0.00※2	kg-CO2	0				0	
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	16,236	—	—	—	16,836	—
	売上高原単位CO2排出量	kg-CO2 /百万円	15.57	15.3	15.1	14.9	26.44	×
2 廃 棄 物 の 削 減	〔目標設定比率〕	単位	基準値比	2 %削減	3 %削減	4 %削減		
	一般 廃棄物排出量	kg	352.0	345.0	341.4	337.9	254.80	○
	廃棄物 リサイクル量	kg	514.6	実績把握	実績把握	実績把握	467.45	—
	産業 産業廃棄物	kg	67,100	実績把握	実績把握	実績把握	51,000	—
	廃棄物 再資源化物	kg	1,183,670	実績把握	実績把握	実績把握	586,370	—
	〔目標設定比率〕	単位	基準値比	1 ポイントUP	1.5 ポイントUP	2 ポイントUP		
	リサイ 総排出量	kg	1,251,637	—	—	—	638,092	—
	クル率 リサイクル量	kg	1,184,185	—	—	—	586,837	—
3.水使用量 の削減	の向上 リサイクル率	%	94.6	95.6	96.1	96.6	92.0	×
	水使用量	—	—	節水確認	節水確認	節水確認	節水実施※3	○
4.化学物質 の管理	使用量の把握	kg	—	使用量把握	使用量把握	使用量把握	—	—
5.自らが施工・ 販売・提供す る・設備・建築 物の環境性能の 向上及びサービ スの提供	〔目標設定比率〕	単位	基準値比	1 ポイントUP	2 ポイントUP	3 ポイントUP		
	環境配慮型工 事等の拡大	%	84.3	85	86	87	92.4	○
	環境配慮設計・ 施工の提案	件	56	57	58	59	73	○
	社内コミュニ ケーション	件	14	15	16	17	15	○
	社外関係者との 情報交換	件	12	13	14	15	7	×

※1 購入電力CO2排出係数：日本テクノ(株) 令和4年度調整後排出係数
※2 グリーン電力証書購入につき、排出係数はゼロとする。
※3 水道料金が事務所共益費に含まれ水使用量把握不可の為、手順書に従い節水実施

■環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の取組（1）

電気使用量の削減



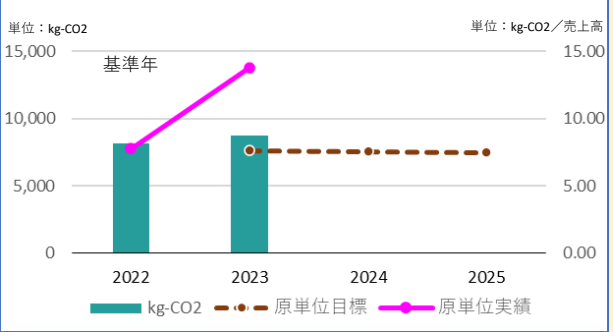
【環境経営目標／実績／達成評価】

年度	2022 基準年	2023	2024	2025
kwh	16,750	19,810		
kg-CO2	8,107	8,058		
削減率%		2	3	4
原単位目標		7.62	7.54	7.46
原単位実績	7.77	12.66		
達成評価		×		

※ 原単位目標・実績：kg-CO2／売上高(M円)

環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
①不要照明消灯の徹底 ②OA機器の省電力モード設定 ③1階事務所エアコンの新機種交換を検討	〔目標達成〕原単位目標値7.77に対して、実績値12.66と目標未達成。使用量自体は昨年と同水準も、対基準年売上比40%減につき原単位実績は悪化した。 〔取組状況〕概ね実施できたが、②省エネ型蛍光灯への切替えは実施できなかった。	×	・ 不要照明消灯の徹底 ・ OA機器の省電力設定 ・ 空調管理の徹底

ガソリン使用量の削減



【環境経営目標／実績／達成評価】

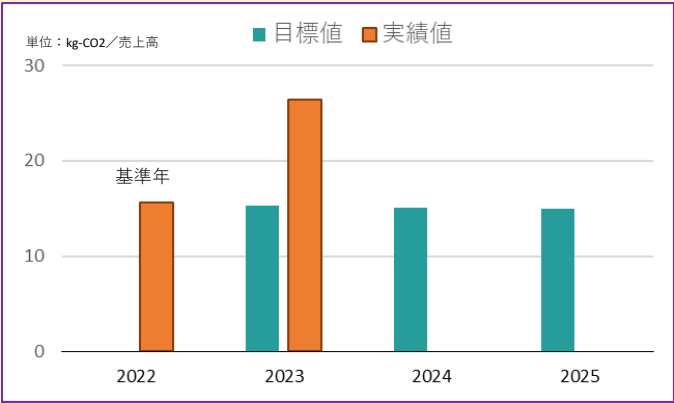
年度	2022 基準年	2023	2024	2025
L	3,504	3,784		
kg-CO2	8,129	8,779		
削減率%		2	3	4
原単位目標		7.64	7.56	7.48
原単位実績	7.80	13.79		
達成評価	—	×		

※ 原単位目標・実績：kg-CO2／売上高(M円)

環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
①安全運転（急発進・急加速をしない） ②予測可能な渋滞を避ける ②車内エアコンの温度設定に留意	〔目標達成〕原単位目標値7.80に対して、実績値13.79と目標未達。使用量自体は昨年8%増。電気使用量と同様に原単位実績は大幅に悪化した。 〔取組状況〕①は取り組めたが、②省エネ型自動車への切替えは実施できなかった。	×	・ エコドライブの実施 ・ 車内エアコンの温度設定に留意

■環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の取組（2）

売上高原単位二酸化炭素排出量の削減

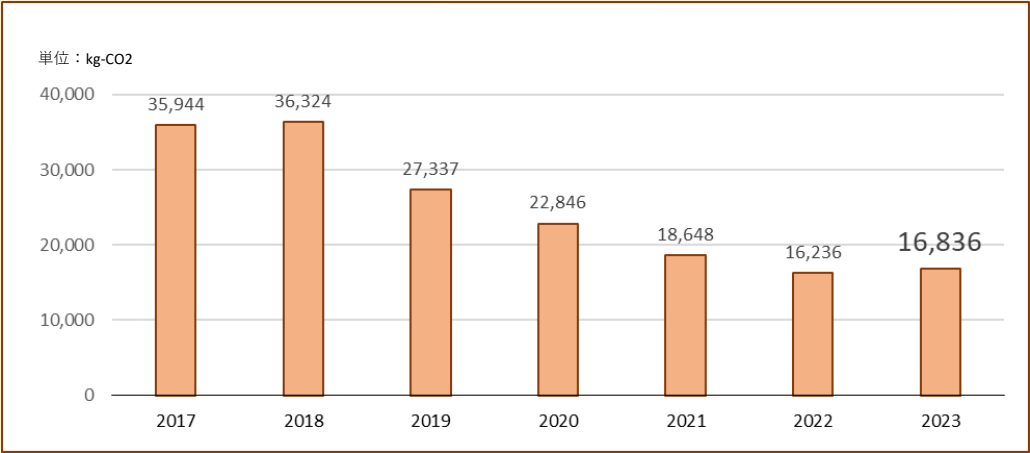


【環境経営目標／実績／達成評価】

年度	2022 基準年	2023	2024	2025
削減率%		2	3	4
目標値		15.3	15.1	14.9
実績値	15.57	26.44		
達成評価	—	×		

※ 原単位目標・実績
単位：kg-CO2/売上高(M¥)

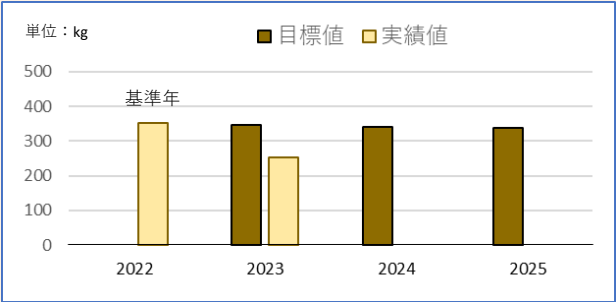
二酸化炭素排出量の推移



年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
CO2排出量 (単位：kg-CO2)	35,944	36,324	27,337	22,846	18,648	16,236	16,836

■環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の取組（3）

一般廃棄物排出量の削減



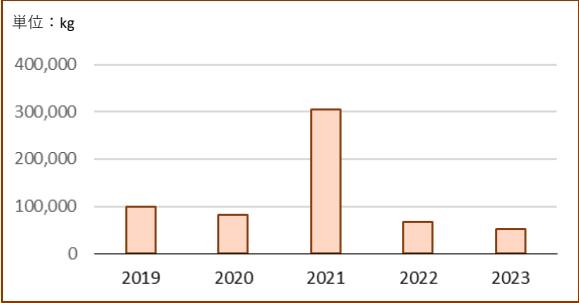
【環境経営目標／実績／達成評価】

年度	2022 基準年	2023	2024	2025
削減率%		2	3	4
目標値		345.0	341.4	337.9
実績値	352	254.80		
達成評価	—	○		

単位：kg

環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
①分別収集の徹底 ②保存紙文書の一部を電子保存化への移行検討	〔目標達成〕目標値に対して実績値を削減できた。 〔取組状況〕①②ともに概ね取り組むことができた。	○	・分別管理の徹底 ・紙使用の削減

産業廃棄物排出量の削減

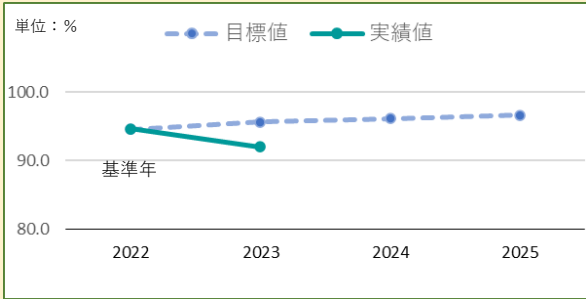


年度	2019	2020	2021	2022	2023
排出量	99,453	81,750	304,770	67,100	51,000

単位：kg

環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
①廃棄物リサイクル推進 ②最終廃棄物削減 ③マニフェスト管理の徹底	①②③ともに概ね取組実施できた。（排出量自体は前年比24％減）	○	・廃棄物リサイクル推進 ・最終廃棄物の削減 ・マニフェスト管理の徹底

廃棄物リサイクル率の向上

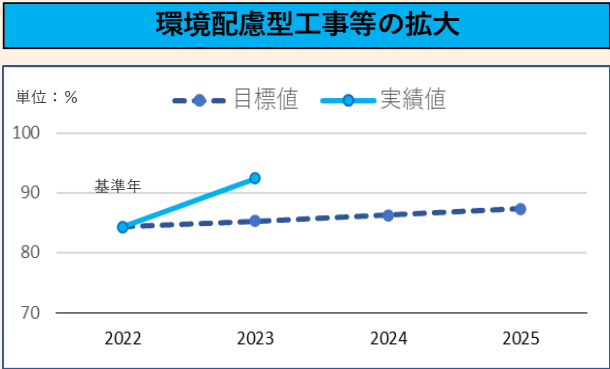


【環境経営目標／実績／達成評価】

年度	2022 基準年	2023	2024	2025
ポイントUP		1	1.5	2
目標値		95.6	96.1	96.6
実績値	94.6	92.0		
達成評価	—	×		

単位：％

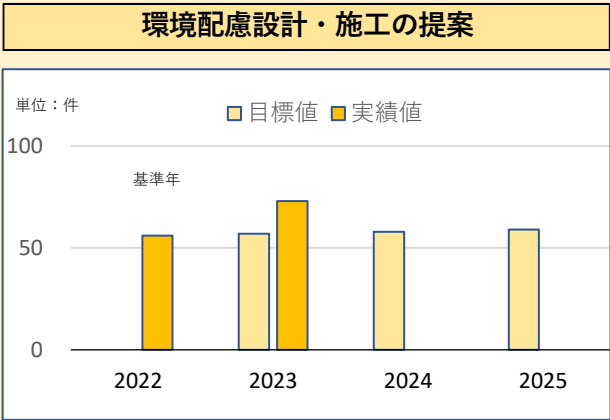
■環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の取組（4）



年度	2022 基準年	2023	2024	2025
ポイントUP		1	2	3
目標値		85	86	87
実績値	84.3	92.4		
達成評価	—	○		

単位：％

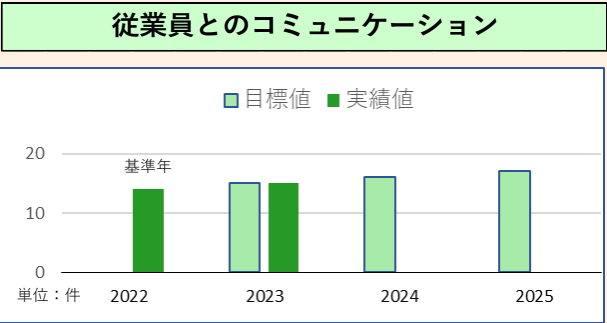
環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
① 環境配慮公共工事の受注 ② 環境配慮民間工事の受注	〔目標達成〕 目標値に対して実績値を上回ることができた。 〔取組状況〕 左記計画取組内容につき、概ね取組むことができた。	○	・ 環境配慮公共工事の受注 ・ 環境配慮民間工事の受注



年度	2022 基準年	2023	2024	2025
ポイントUP		1	2	3
目標値		57	58	59
実績値	56	73		
達成評価	—	○		

単位：件

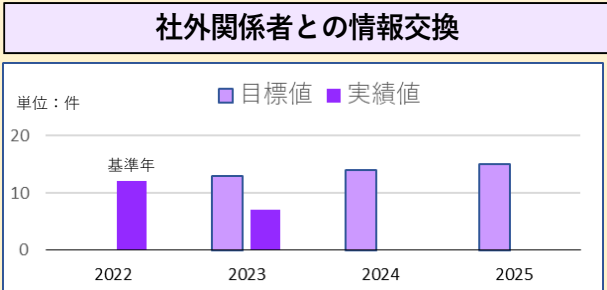
■環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の取組（5）



	2022 基準年	2023	2024	2025
目標値		15	16	17
実績値	14	15		
達成評価	－	○		

単位：件

環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
① 環境教育の実施 ② 社内行事の実施 ③ 社員懇親会の実施	〔目標達成〕 目標値を達成することができた。 〔取組状況〕 ①～③とも概ね取組むことができた。	○	・ 環境教育の実施 ・ 社内行事の実施 ・ 社員懇親会の実施



	2022 基準年	2023	2024	2025
目標値		13	14	15
実績値	12	7		
達成評価	－	×		

単位：件

環境経営計画／取組内容	当年度の取組結果	評価	次年度の取組内容
①関係官庁との情報交換 ②取引先との情報交換 ③地域社会との情報交換 ④その他	〔目標達成〕 目標値の達成には至らなかった。 〔取組状況〕 概ね取組めたものの、③は実施数が少なかった。	×	・ 関係官庁との情報交換 ・ 取引先との情報交換 ・ 地域社会との情報交換

■環境関連法規遵守状況

当社事業活動に関する環境関連法規の遵守については、違反はなかった。
また、関係当局からの違反の指摘や、利害関係者からの訴訟等も、特に無かった。

法規等名称	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	・ 廃棄物排出量の削減 ・ 建設業における元請け責任 ・ 産廃処理委託契約の締結 ・ マニフェストの適正管理 ・ マニフェスト交付状況報告	・ 資源物の分別リサイクル ・ 産廃の元請責任処理 ・ 収集運搬、中間処分業者 ・ マニフェストの交付と回収 ・ 毎年6月末報告	適正遵守
資源リサイクル法	・ 建設リサイクル法 ・ 容器包装リサイクル法 ・ 家電リサイクル法 ・ 自動車リサイクル法	・ 特定建設資材の再利用 ・ 各種リサイクル法遵守	適正遵守
省エネ法	・ 電力使用量の平準化と抑制	・ 省エネ活動の励行	適正遵守
PRTR法	・ 化学物質使用の管理	・ PRTR法該当化学物質使用量の把握	適正遵守
大気汚染防止法	・ 特定粉じん排出等作業の作業計画作成～実施届出～結果報告	・ 作業基準の遵守等	適正遵守

■代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	内 容		
1. 見直し実施日	2023年11月30日（木）		
2. 出席者	代表者、環境管理責任者、事務局		
3. 報告した情報	①環境経営目標の達成状況		
	②環境経営計画の実施及び運用結果		
	③環境関連法規などの遵守状況		
	④外部からの環境に関する苦情や要望		
4. 代表者の総括的評価	全体的に環境経営計画の各指針の実施に努め、廃棄物排出量の削減はできたものの、基準年比で売上高40%減・CO2排出量3.7%増の結果、売上高原単位CO2排出量の目標数値には及ばなかった。受注の規模や内容により目標達成結果は左右されるが、引き続き環境負荷の低減および経営力の向上に取り組んでいく。		
5. 見直しの結果	見直し項目	変更の有無	変更に関する指示
	①環境経営方針	有・ 無	特に無し
	②環境経営目標	有・ 無	特に無し
	③環境経営計画	有 ・無	・エコドライブの意識強化 ・外部関係先からの情報収集活性化
	④実施体制	有・ 無	特に無し
	⑤環境経営システム	有・ 無	特に無し

8：工事現場



9：地域社会との交流

■ 職場体験学習の受入れ

毎年、第二亀戸中学校の二年生の職場体験を実施しています。職場でのマナーや現場の実習、現場の視察などの体験を通して、現場の雰囲気・社会の仕組みを知ってもらうことが出来ればと考えております。

▽ コロナ渦がおさまり、4年ぶりに職場体験学習を受け入れることができました。



■ 永年継続事業者感謝状

今年度、エコアクション21中央事務局より感謝状を拝受いたしました。

